

基本方針4 子どもたちの豊かでたくましい人間性をはぐくみます

資料2

## 【基本的方向】

- ① 小・中・高一貫したキャリア教育を推進するとともに、地域と連携した体験活動や読書活動を充実し、粘り強くチャレンジする力をはぐくむ教育を充実します。
- ② 歴史や芸術・文化・学術等に関する教育を推進し、郷土への誇りや伝統・文化を尊重する心をはぐくみます。
- ③ 民主主義をはじめとした社会のしくみについての教育を推進し、社会の一員として参画し貢献する意識や公共の精神を醸成します。
- ④ 社会のルールを守り、違いを認め合い人を思いやる豊かな人間性をはぐくむ人権教育・道徳教育を推進します。
- ⑤ 子ども自身の問題解決能力をはぐくむとともに、関係機関との連携や支援チームの活用等により、いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応を強化します。
- ⑥ 教員研修の実施など校内の指導体制を強化し、体罰等の防止に取り組みます。

## 【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	キャリア教育の推進 (児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育プログラムの推進) ＜参考資料2 P 1＞	小・中学校において、研修を通じて「大阪府キャリア教育プログラム」の周知・普及に努め、中学校区におけるキャリア教育全体指導計画の作成及び検証について指導した。
	キャリア教育の推進 (「志（こころざし）学」の実施) ＜参考資料2 P 2＞	府立高校においては、「志（こころざし）学」を実施するとともに、大阪府教育センター研究フォーラムにおいて、実践発表を実施した。また、優れた実践事例の共有を目的として「志（こころざし）学」実践事例集を作成した。
	子どもの発達段階に応じた読書環境の充実 (子ども読書活動推進事業) ＜参考資料2 P 4～5＞	オーサービジット事業（※）や中高生ビブリオバトル大会の開催等により、発達段階に応じた子どもの本と出合う機会を拡大するとともに、市町村子ども読書活動推進担当者会議や「公立図書館と学校との合同研修」等の開催により、子どもの読書活動推進に携わる人を対象に好事例紹介や情報交換を実施することで、子どもの発達段階に応じた読書環境の充実を図った。 (※) 作家が小学校等を訪問して、子どもにワークショップや読み聞かせ等を行う事業

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
②		<b>第2回審議会で審議済</b>
③		
④	道徳教育の推進  <参考資料2 P 8～9>	<p>小・中学校については、「特別の教科 道徳」の円滑な実施に向けて、府内14校を推進校に指定し、指導方法や評価方法の研究を行うとともに、その成果を「特別の教科 道徳」実践事例集にまとめ、広く発信するために、大阪府道徳教育フォーラムを開催した。加えて、道徳教育推進教師対象の研修会を実施した。</p> <p>また、府立高校については、各校が作成する道徳教育の全体計画に基づき、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進することを周知した。</p>
	人権教育の推進  <参考資料2 P 10～P 11>	<p>小・中学校については、人権教育教材集・資料等を活用した研修を実施するとともに、人権教育フォーラムを実施した。</p> <p>府立高校については、共同研究校23校、共同研究員・研究協力員185人の体制により、研究交流会議やテーマ別研修会等を開催した。</p>

基本的方向	具体的な取組名（事業名）	実施内容
⑤	いわき市立図書館 「まちの本屋」	第2回審議会で審議済
⑥		

**【指標の点検結果】**※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H29年度実績値	点検結果
○指標24 「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合	向上させる	小6：86.3%（全国：87.7%） 中3：71.1%（全国：73.5%）	小6：83.0%（全国：85.1%） 中3：69.4%（全国：72.4%）  H28年度実績 小6：83.7%（全国：85.9%） 中3：68.3%（全国：70.5%）	△  いずれも計画策定時の実績を下回り、目標には達しなかった。
○指標25 「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合	向上させる	小6：93.6%（全国：94.3%） 中3：92.0%（全国：93.7%）	—  ※平成30年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙から当該質問事項が削除	—  —
○指標26 「読書が好き」な児童・生徒の割合	向上させる (全国水準をめざす)	小6：45.8%（全国：47.8%） 中3：38.0%（全国：46.2%）	—  ※平成30年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙から当該質問事項が削除	—  —
○指標27 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合	向上させる (全国水準をめざす)	小6：73.0%（全国：75.7%） 中3：60.2%（全国：66.4%）	小6：81.3%（全国：84.0%） 中3：72.7%（全国：78.8%）  H28年度実績 小6：74.9%（全国：77.9%） 中3：65.6%（全国：70.7%）	○  いずれも計画策定時の実績を上回り、目標に達した。

【基本方針4】

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H29年度実績値	点検結果	
○指標28 「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答した児童・生徒の割合	向上させる	小6：91.7%（全国：93.0%） 中3：92.5%（全国：94.2%）	—  ※平成28年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙から当該質問事項が削除	—	—
○指標29 「学校のきまりを守っている」児童・生徒の割合	向上させる	小6：85.3%（全国：90.6%） 中3：89.1%（全国：92.5%）	小6：84.9%（全国：89.5%） 中3：93.3%（全国：95.1%）  〔H28年度実績 小6：89.1%（全国：92.6%） 中3：93.2%（全国：95.2%）〕	△	小6については、計画策定時の実績を下回り、目標には達しなかった。
○指標30 「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」児童・生徒の割合	90%以上をめざす	小6：87.5%（全国：91.8%） 中3：84.4%（全国：87.1%）	—  ※平成26年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙から当該質問事項が削除	—	—
○指標31 「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」と回答した府立学校生の割合	向上させる	57.0%	59.0%  [H28年度実績59.1%]	○	計画策定時の実績を2.0ポイント上回り、目標に達した。
○指標32 「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合	向上させる	80.6%	84.0%  [H28年度実績82.6%]	○	計画策定時の実績を3.4ポイント上回り、目標に達した。
○指標33 「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がない」と回答した府立学校生の割合	減少させる	9.2%	7.2%  [H28年度実績7.2%]	○	計画策定時の実績より2.0ポイント改善し、目標に達した。

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績値 (計画策定時)	H29 年度実績値	点検結果
○				<p>第2回審議会で審議済</p>

(注) 目標に対する平成 28 年度実績の進捗状況を記載。

【自己評価】

【基本的方向①】小・中・高一貫したキャリア教育を推進するとともに、地域と連携した体験活動や読書活動を充実し、粘り強くチャレンジする力をはぐくむ教育を充実します。

- ・粘り強くチャレンジする力の育成については、小中学校9カ年のキャリア教育全体計画の策定を促進し、検証の重要性について指導するなど、キャリア教育の充実を図ってきた。しかし、「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合は計画策定時の実績を下回っており、今後とも、発達段階に応じたキャリア教育を一層推進していく。
- ・子どもの発達段階に応じた読書環境の充実を図るため、教職員等を対象とするビブリオバトル研修や、学校図書館の活性化・公立図書館における児童サービス向上を目的とする「公立図書館と学校との合同研修」等の各種研修を実施したほか、小・中学校における読書活動の充実に向けて、市町村読書担当者会議等を通じて、市町村に対して好事例を紹介するなどの支援を行った。「読書が好き」と回答した小6、中3の割合は、計画策定時に比べ増加しているものの、全国平均を依然下回っていることから、子どもが読みたいと思う本と出合う機会の拡大等を進めるとともに、市町村に対する読書活動推進の働きかけを進めていく。

第2回審議会で審議済

【基本的方向④】社会のルールを守り、違いを認め合い人を思いやる豊かな人間性をはぐくむ人権教育・道徳教育を推進します。

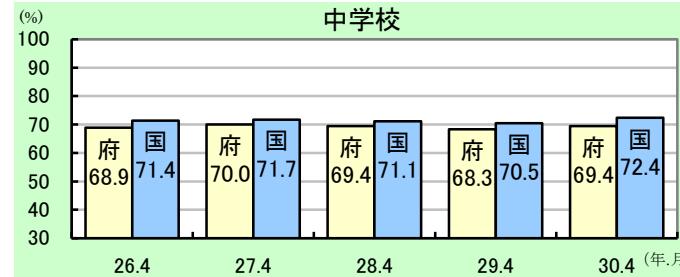
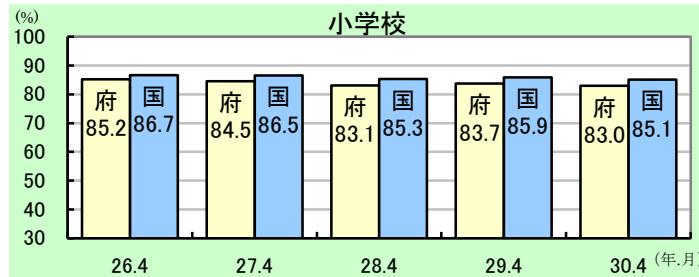
- ・小・中学校については、人権教育研修を実施するとともに、特別の教科「道徳」の実施に向けての研究を冊子にとりまとめ配付する等、道徳教育をより一層推進してきた。これらの成果として、「自分には良いところがある」と回答した小学校6年生、中学校3年生が、いずれも計画策定時の実績を昨年度に引き続き上回った。
- ・府立高校においては、人権教育研修など各種会議を開催し、その成果を取りまとめるとともに、各学校で作成した道徳教育の全体計画に基づき道徳教育を推進した。これらの成果として、「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」、「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合はいずれも向上し、「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がない」と回答した府立学校生の割合も計画策定時の実績より、改善している。今後も教育活動全体を通じて一人ひとりの人権が大切にされる学校づくりに取り組んでいく。

第2回審議会で審議済

【評価審議会における審議結果】

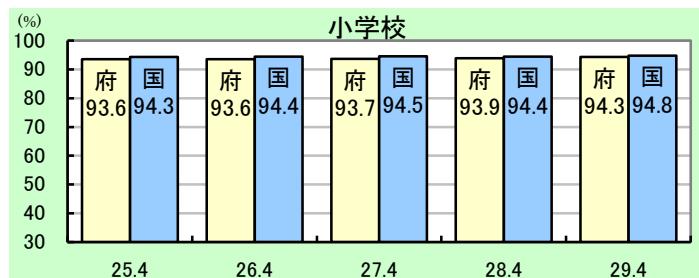
(参考)

## ◆指標 24 「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合



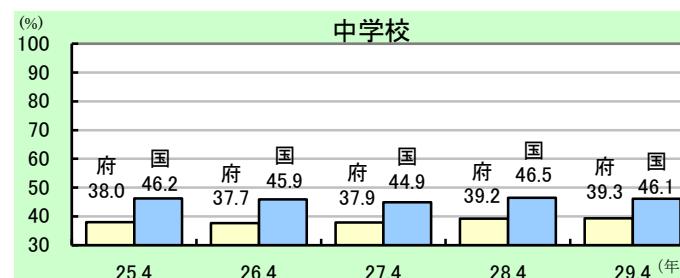
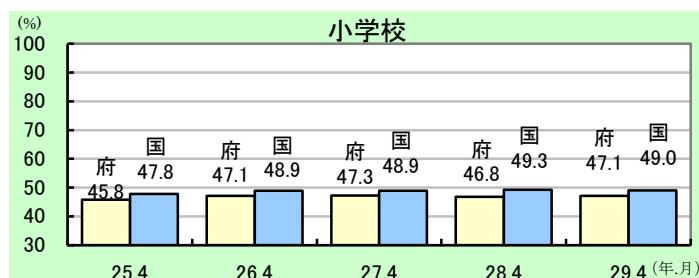
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)

## ◆指標 25 「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合



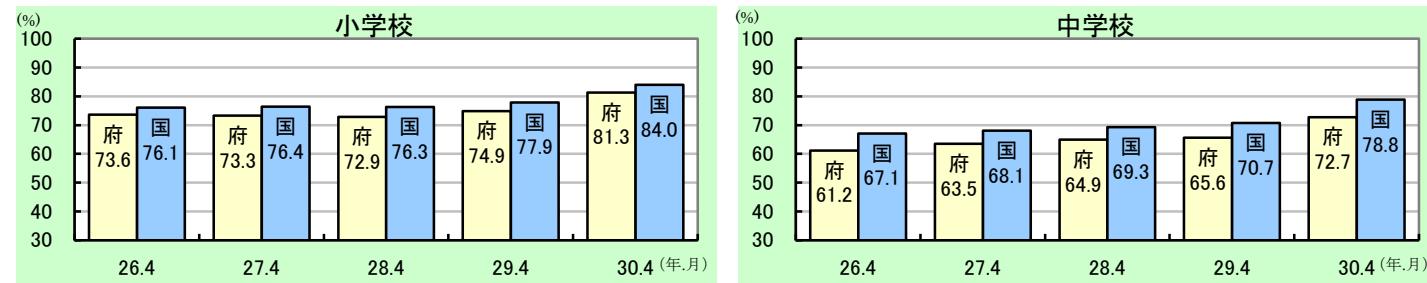
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)  
※平成 30 年度調査は、項目なし

## ◆指標 26 「読書が好き」な児童・生徒の割合



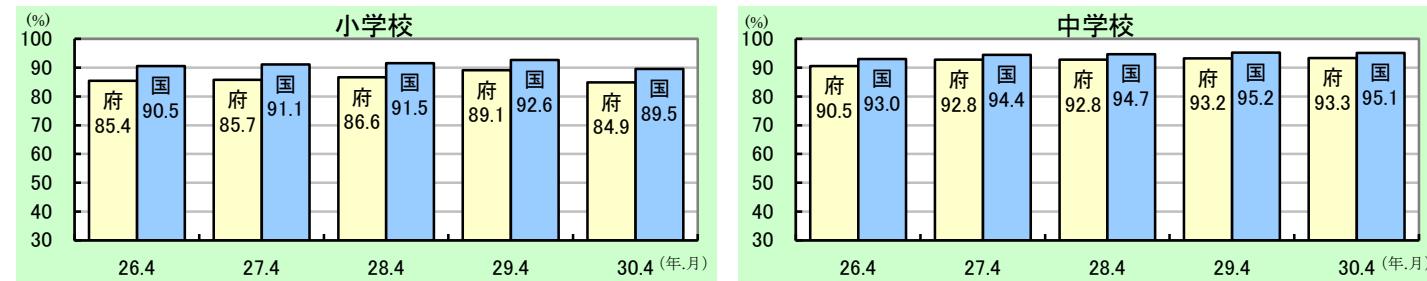
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)  
※平成 30 年度調査は、項目なし

## ◆指標 27 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合



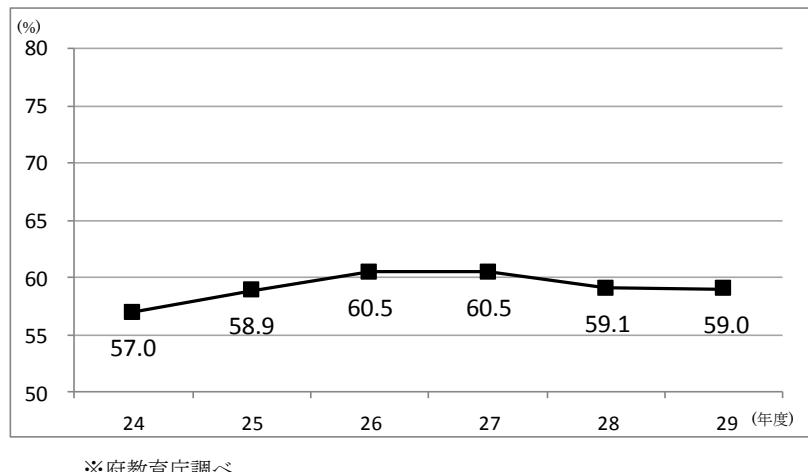
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)

## ◆指標 29 「学校のきまりを守っている」児童・生徒の割合



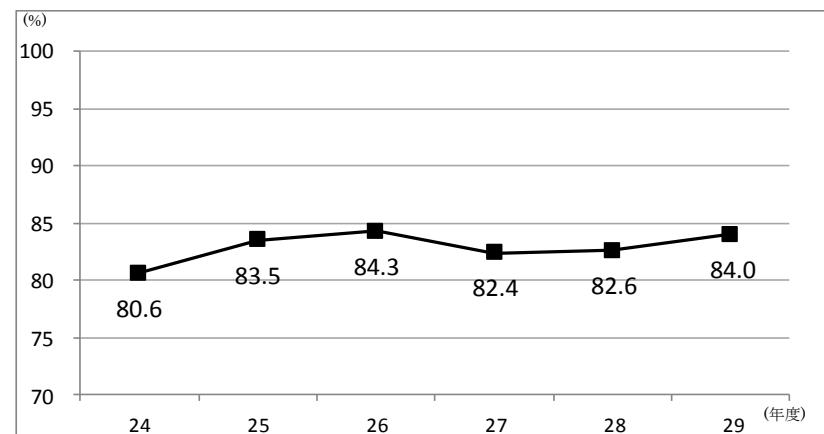
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標31 「高校・高等部での学習を通して  
『自分を大切にする』気持ちが高まった」  
と回答した府立学校生の割合

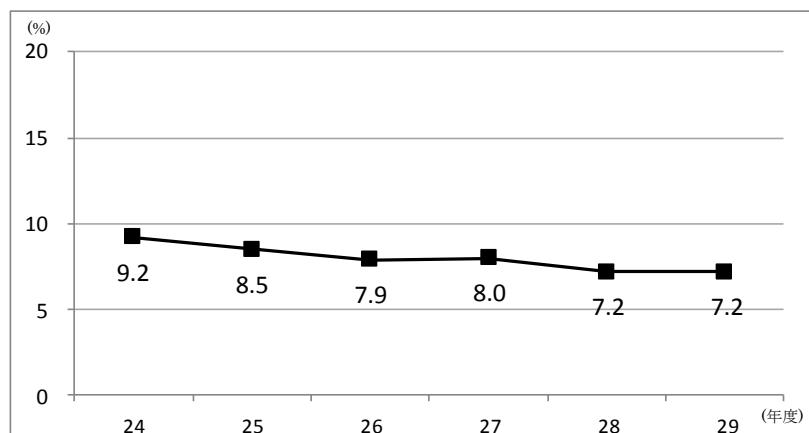


※府教育庁調べ

◆指標32 「高校・高等部での学習を通して  
『人間関係』の大切さを学んだ」  
と回答した府立学校生の割合



◆指標33 「悩みや心配ごとがあるとき、相談する  
相手がない」  
と回答した府立学校生の割合



第2回審議会で審議済